

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公開番号】特開2008-27355(P2008-27355A)

【公開日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-005

【出願番号】特願2006-202124(P2006-202124)

【国際特許分類】

G 06 T 1/00 (2006.01)

G 06 T 3/00 (2006.01)

【F I】

G 06 T 1/00 3 4 0 A

G 06 T 3/00 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月28日(2010.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像データを記憶する記憶部、少なくとも前記記憶部の画像データを表示することが可能な表示部を備える画像表示装置であって、

前記記憶部の画像データから顔領域および顔領域の傾きを含む顔情報を検出する顔情報検出部と、

顔回転の開始指示を入力可能な指示部と、

前記指示部に顔回転の開始指示が入力されたことに応じ、前記顔情報検出部の検出した顔領域の傾きに基づき、前記顔領域を実質的に正立させる方向に前記画像データを回転させて前記表示部に表示するよう制御する表示制御部と、

を備え、

前記表示制御部は、前記顔情報検出部が複数の顔領域および複数の顔情報を検出した場合、前記複数の顔領域のうち過半数の顔領域を実質的に正立させる方向に前記画像データを回転させて前記表示部に表示するよう制御する画像表示装置。

【請求項2】

前記表示制御部は、前記顔領域の傾きが所定の角度を超える場合に限り、前記顔領域を実質的に正立させる方向に前記画像データを回転させて前記表示部に表示するよう制御する請求項1に記載の画像表示装置。

【請求項3】

前記顔情報検出部が複数の顔領域および複数の顔情報を検出した場合、前記複数の顔のうち所望の顔の選択が可能な選択部をさらに備え、

前記表示制御部は、前記選択部から選択された顔領域を実質的に正立させる方向に前記画像データを回転させて前記表示部に表示するよう制御する請求項1または2に記載の画像表示装置。

【請求項4】

請求項1～3のいずれかに記載の画像表示装置を備えた撮影装置。

【請求項5】

画像データから顔領域および顔領域の傾きを含む顔情報を検出するステップと、

顔回転の開始指示を入力するステップと、
顔回転の開始指示が入力されたことに応じ、検出した顔領域の傾きに基づき、前記顔領域を実質的に正立させる方向に前記画像データを回転させて表示するステップと、
複数の顔領域および複数の顔情報を検出した場合、前記複数の顔領域のうち過半数の顔領域を実質的に正立させる方向に前記画像データを回転させて表示するステップと、
を含む画像表示方法。

【請求項 6】

画像データから顔領域および顔領域の傾きを含む顔情報を検出するステップと、
顔回転の開始指示を入力するステップと、
顔回転の開始指示が入力されたことに応じ、検出した顔領域の傾きに基づき、前記顔領域を実質的に正立させる方向に前記画像データを回転させて表示するステップと、
複数の顔領域および複数の顔情報を検出した場合、前記複数の顔領域のうち過半数の顔領域を実質的に正立させる方向に前記画像データを回転させて表示するステップと、
をコンピュータに実行させるための画像表示プログラム。